

## いのちのノート

木のした 大悟

「今日もおべんとうばこわすれないでね。」お母さんが、まい朝ほくに言うことばです。ほくは、学校のきゅうしよくをたべることができません。うまれてすぐにアレルギーが分かったので、たまごにゆうせいひんが今もたべられません。小学校に入学する時、きゅうしよくはどうなるのかなと心ばいしたけど、お母さんが、

「だいじょうぶ。まかせてね。」  
と言ってくれたので、むねがホッとしました。

小学校に入学すると、すぐにきゅうしよくがはじまりました。お母さんに「だいじょうぶ。まかせてね。」と言われたけど、本とうはみんなとおなじきゅうしよくがたべたいと思っていたので、その気もちを話しました。

「ほくもみんなとおなじきゅうしよくがたべたい！」

お母さんはだまってほくをギュッとだきしめてくれました。そして、

「ごめんね。でも、みんなとおなじきゅうしよくはたべられないの。アレルギーのあるものをたべると、いきがくるしくなったり、じんましんが出たりして、ひどくなるとしんでしまうかもしれない。だから、たべられない日は、お母さんがんばるから。」となっていました。ほくは、お母さんの気もちがよく分かったので、がまんしようと思いました。

きゅうしよくがたべられない日、お母さんはほくにおべんとうばこと一さつの小さなノートをわたしてくれました。ノートに

は「きゅうしよくノート」と書かれていて、今日たべられるおかず、たべられないおかずが書かれています。たんにんの先生にほくのことを知ってもらうために、お母さんが作ってくれたのです。

きゅうしよくの時間、ドキドキしながらおべんとうばこを開けました。ほくは、中を見てビックリしました。そこには、みんながたべているおかずとおなじものが入っていたからです。お母さんは、きゅうしよくを考えているえいようしさんから、きゅうしよくのメニューを教えてもらってアレルギーようにまねして作ってくれたのです。

ほくはうれしくて、その日かえってすぐに、  
「お母さん、すごい！ 本とうにありがとう。」  
と言うと、えがおで、

「よるこんでくれて、お母さんもううれしい。」  
と言ってくれました。それから、まい日お母さんの手作りきゅうしよくと「きゅうしよくノート」をもって、小学校に通っています。

おばあちゃんがほくの家にきた時、きゅうしよくノートを  
見て、  
「これは大ちゃんにとって大せつな『いのちのノート』だね。  
だから一生大事にね。」と言ってくれました。それを聞いて一  
生大せつにしようと思いました。ほくのたからものです。お  
母さん、本とうにありがとう。